

廣池千九郎中津記念館が竣工しました。



アプローチ ※



エントランス



展示室 ※



縁側



研修講堂

CONCEPT

生家を中心に敷地全体が記念館

総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎の事跡を顕彰する廣池千九郎中津記念館。第一期工事で修復された生家を中心に敷地全体を記念館とすることをめざしました。

敷地内には自然石による散策路「志の道」を整備。道を歩くことで、この地で生まれ育った廣池千九郎の「志」に思いを巡らすとともに、四季折々の自然を満喫できるランドスケープとしています。

木造の魅力を伝える新記念館

新記念館の研修講堂は木材と鋼材のハイブリッドによるユニット型のサスペンショントラス構造を採用。屋根にかかる力を合理的に分散し、木材量を低減しながら200人規模の研修が可能な無柱空間を実現しました。

柱や梁を表しにすることで、木造ならではの木の雰囲気を感じていただける計画としています。エントランスホール、研修講堂は間接照明により、木造の魅力を引き立たせる柔らかくあたたかみのある光の空間となっています。



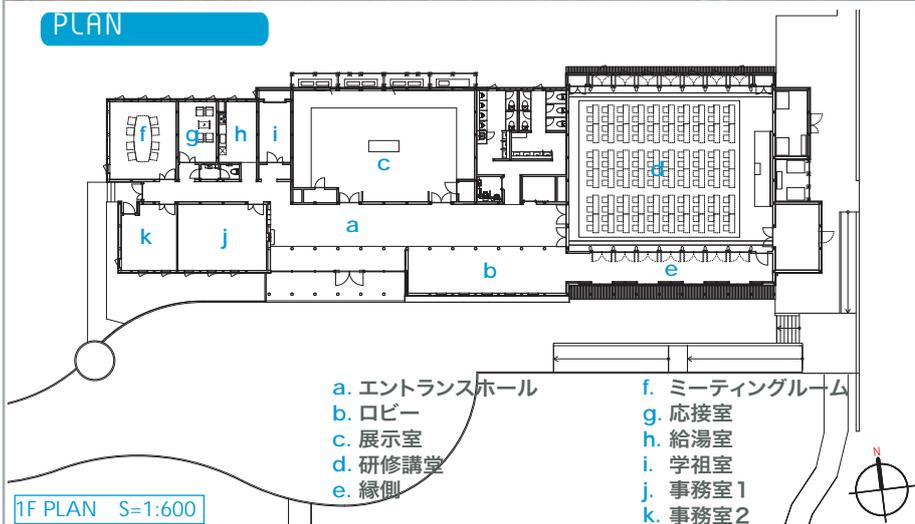
生家ごしに記念館を見る ※

DATA

敷地面積	: 13,841.95㎡ (開発全体面積)
建築面積	: 1,005.22㎡ (記念館)
延床面積	: 858.52㎡ (記念館)
建ぺい率	: 23.53% (記念館・屋外倉庫)
容積率	: 19.92% (記念館・屋外倉庫)
構造・規模	: 木造 平屋建て サスペンショントラス (研修講堂)
最高高さ	: 8.68m
軒高	: 6.46m
主なスパン	: 1.82m×3.64m
設計期間	: 2011.06~2013.03
工事期間	: 2013.04~2014.02
構造設計・監理	: TIS&PARTNERS
照明デザイン	: ライティングデザインスタジオ LUME

064

PLAN



TOPICS



生誕記念の集い ※

平成26年3月23日、毎年恒例の「生誕記念の集い」にて新記念館がお披露目されました。参加者約2200人、今年では中津祇園の山車も披露されました。

※写真提供：公益財団法人モラロジー研究所

▶ <http://www.nissoken.co.jp>